

2013(平成25)年度 キッズサンガアンケート一覧

設問① この一年、普段の日常生活の中で、子どもと接し、仏参や作法、お参りの奨励などをされたことはありましたか？

焼香の作法を指導した
・念珠の持ち方 ・合掌礼拝、経本のいただき方等の作法
・食事をする行事では食前、後のことば ・勤行
・寺小屋に誘う ・幼稚園の評議員 ・幼稚園のもちつきの手伝いへの参加 ・消防団としての交流 などの交流で
・本堂へ入る時の作法 ・念珠の持ち方など
①保育園の年長組の子どもたちが、お寺参りをしてお話や焼香をしました ②小学校2年生がお寺について、いろいろ質問され、それをもとに学習発表会で、自作劇をしてくれました
仏様のお話をわかりやすく伝える
・子ども学習会 ・子ども盆踊り
焼香の作法等、初参式・子どもの集いの場でおこなった
お勤め、焼香の実技指導など
・合掌礼拝の作法 ・正信偈のお勤め ・食前、食後のことば
行事参加の奨励
・合掌礼拝 ・焼香
・初参式 ・子ども報恩講の案内
・子ども報恩講(親子の集い)開催 ・ご法事に子供さん参加の場合、それへの説明やお話等
一緒に仏壇へ参る
・お盆休暇の早朝ラジオ体操、組3〜4人ぐらいを相手に ・隣の集会所(公民館)でおやつを渡して会話
・花まつり ・おつとめ(重誓偈) ・焼香の仕方
・花まつり ・小学校児童課外授業 ・スケッチ(境内の周辺)等
久手仏教会「花まつり」25-4-29
門徒宅へお参りした際に子供と一緒におつとめをしたり、行事の参加をうながす
・仏参・食前、食後のことば・内陣参拝など
・初参りの時の、手の合わせ方、念珠のつかい方 ・ご法事の時の、焼香のしかた
・礼拝の仕方 ・焼香
・礼拝の仕方 ・焼香
焼香一合掌一礼拝
自坊での法要の際や、門徒宅での仏事の際など、食前のことばや焼香の作法などを子どもに教えた
・食前・食後のことば ・とつとめ ・焼香
ご門徒宅の仏事(法事、報恩講等)の席で、子供中心に作法指導
法事の時、家族と一緒にいる子供にもわかるお話をすること
・仏壇へのお供え ・焼香 (自坊の孫)
・仏讃 ・法話 ・焼香
月忌参り、法事等仏事の時に話し合う
月忌参り、門徒報恩講には「らいはいのうた」と焼香、礼拝等の作法を説明している
・本堂へお参り ・焼香 ・食前、食後のことば
仏前にお参りして一緒に礼拝を致しました
親子で散歩に来られた折、本堂でお参りしてもらい、一緒にお茶を飲みました
・朝、夕のお勤め ・食前、食後のことば
在宅報恩講、初参式等〜家族全員の中で
・入学式後のお参り ・小学校のs社会見学
子供会
子供会
・食前、食後のことば ・合掌礼拝や焼香などの作法など
子ども会
・仏壇へのお供え ・焼香
作法:合掌礼拝、焼香、念珠の持ち方、経本の取扱い、お経の読み方、食事の言葉
・食前、食後のことばをカードの入れて配布 ・朝夕のお礼参り〜荘厳とお経について、焼香の仕方、リンの打ち方など
・食前、食後のことば ・献灯、献花 ・仏壇でのお勤め
日校への勧誘
・毎日のお仏壇のお参りについて ・お墓参りについて
毎週の土曜学校に於
仏参(お念珠の持ち方、聖典の扱い方) ・食前、食後のことば
おつとめ
・食前、食後のことば ・焼香の作法
・毎月の日曜学校(内サマースクール一泊二日1回)法話、作法 ・初参式(5月21日降誕会)
・食前の言葉 ・合掌の仕方 ・焼香の作法

設問② この一年、平素の法務、法要、行事などで子どもが参加されたことがありましたか？

子どもが興味を示すグッズやお菓子の配布
年回法要は本堂が主であり、子どももお参りする家庭が多い。一口法話は児童には難しいが、お菓子の配布などはしている。(お使いの子どもにも)
年回法要で「いただきます」の意味がわかるように法話をした。
・ご法事、寺院での彼岸・永代経・報恩講等の法要 ・お菓子の配布
・行事の際(子供参加のもの)には子供に向けてのお話 ・お寺へ来る子供行事では菓子を配布
・法事に子どもがいれば、必ず念珠の持ち方、お経本の扱い、焼香作法などを説明する ・初参式、ひもおとしを行う ・お盆参りなどに子どもがいれば一緒にお勤め

法事のお参りの時、花まつりの時期等にお菓子を用意した

年回法要で参拝の子供にお菓子の配布をしている。言うまでもなく子供がいるときは、年回法要で家人に子供を伴っての参拝を奨励している。子供に配慮した法話をしている
葬儀後の七日詣りに子どもが参席していたので、子ども達にわかり易い法話とした

子供用念珠プレゼント

・コンサート ・やざブータン村まつり 普通に気を配る

・お盆(あんどんづくり)の準備 ・盆行事の参加(お勤め、話を聞く、盆踊り)

①「紙芝居とぜんざいの会」を実施、今年で12回目 ②ご法事の折、出来るだけ家族づれ、子どもさんも一緒に参られるように

・年回法要への参拝～お菓子の配布 ・除夜会の参拝～ぜんざい、しょうが湯の接待 ・第一日曜の家族礼拝～誕生日プレゼント

・子どもへの語り口調で、お取次を実施(質問形式を取り入れる等の工夫をする)・意訳のお勤めの実施 ・休憩中における子供との会話を重視 ・称名の仕方 of 工夫 ・焼香の作法等の説明

・除夜会 ・お菓子の配布

初参式での絵本配布

上記①に記入の通り(ご法事での子供への対応、お寺での親子の集い等)

恒例法要へ(ご門徒が連れて来られる) 配慮～必ず声をかける

彼岸法要、永代経法要、盆法要等親子にて参詣有

盆踊り

永代経、年始親子同伴

花まつり

法事、うさぎとカメの仏教的解釈

仏華外

子ども報恩講など。子供にも感じてもらえるご法話。又は紙芝居、DVD上映。おときをいただく、おみやげ

初参り

・子供にも経本を開いてもらってお勤めをした(法事にて) ・行事でお菓子を配布したり、わかるような法話をした

・子供にも経本を開いてもらってお勤めをした(法事にて) ・行事でお菓子を配布したり、わかるような法話をした

・門信徒の仏事でお寺参りや門信徒宅で子供が参加することがあった ・花まつりの行事を通して

・大遠忌での稚児参加 ・焼香作法 ・式章をおくる(子供用)

・報恩講 ・年忌法要

除夜会、修正会～お菓子の配布

①法事参列(礼拝、焼香指導) ②葬式(礼拝、焼香指導)

法事に参った子ども達に焼香の仕方を伝えた。また、理解できるような法話をした

・葬儀後の寺参り(お礼参り)の際、子供が一緒の時には配慮した法話をし作法等をお伝えした

永代経、報恩講の時、近くの子供が遊びにきて本堂でお参りをして境内で遊び、おやつを渡した

地域に子供が少ので、出来

・門徒報恩講 ・月忌参り ・仏事等

・子供向けの法話 ・焼香の作法

法事でお参り頂いた

・子供に興味ある法話 ・できるだけわかりやすく話す

・月参りに作法やしんじんのうたのお勤め ・永代経法要～導師に子供向けの法話依頼

出来るだけ仏前に行く様に言っはいますが

月参りや法事の際に念珠を上げたり、焼香の作法を教えたりその後褒める

・法事の子供向け法要 ・法事の合掌、礼拝、焼香の作法、指導

・報恩講 ・除夜会 ・お菓子の配布、お年玉

初参式

初参式

子供用念珠授与「いのちの誕生」

月～一回、お寺で子ども会

・降誕会 ・初参式 ・成道会

・初産式～わかりやすい法話、本願寺出版社などが絵本の配布、手作りお菓子 ・本願寺念仏参拝で事前学習会～浄土真宗のみ教え、宗祖の生涯など

子供にわかるように法話をした

・報恩講(子供向けのおとき、アレキサーに注意)・花祭り(花御堂での誕生仏への甘茶注ぎ)・降誕会(もちまき)

法話は子どもにわかるよう配慮した

御法話の内容

・降誕会、子ども報恩講、初参式などで子供にわかるような言葉、内容で法話したこと。参加者に興味を示すような文具を男女に分けて、高学年、低学年にも配慮

仏事でこどもが多数いた時、こどもにわかるような内容にして話した

・降誕会 ・念珠式 ・食事

ローソクの火 ・花びらの向きの話

・降誕会 ・お餅まき参加

記念法要(750回大遠忌、住職継職)に参加してもらい、記念コンサートの合唱や献灯献花、稚児行列などお菓子等の用意

設問③ この一年、子どもに特化した”つどい・行事”などを開催されたことはありましたか？

子ども会

・親子会 ・夕涼み会

・寺小屋10回(巨大すごろく、本堂掃除、花祭り、竹の子堀、ちまき作り、芋ほり、焼き芋、他のお寺参りとホーリング、もちつき) ・夏季子供会(1泊) ・児童念仏奉仕団参加

・花まつり ・降誕会 ・児童念仏奉仕団 ・報恩講

初参式及び七五三

例年、降誕会を開催しているが、昨年は事情で休んだ。降誕会には子供も呼びかけしているが、ここ1～2年は子供の参拝が

子ども盆踊り

・入学報告法要 ・初参式

・日曜学校 ・本山奉仕団(組でまとめて実施)
「紙芝居とぜんざいの会」(第12回目)・紙芝居・絵本の読み聞かせ・ゲーム・おぜんざい・ビンゴゲーム・プレゼント
・初参式 ・サマースクール
初参式の実施
入学参拝
組内行事(子ども報恩講)実施
初参式
上記①に記入の通り(お寺での親子の集い)
寺院～中学生までの子どもとその親との親睦会(夏・冬)

設問④ 子どもたちに向けた取り組みを行う際に何か意識してることはありますか？

①部活動などを行っている子どもも多いため、日にちや曜日に留意する。②仏法中心でなく「参加することが第一」との思いで内容を考える。

案内チラシの工夫

なるべく多くの方々が、参加できる日程を組んでいる

お寺は、普段から参るところであり、遊び場でもあるように日常生活に「お寺」があることが自然なこととなるように

学校行事との兼ね合い

出来るだけわかりやすい話をしたり、楽しい出会いになる様につとめお寺は楽しい場所であると感じ取る様に

案内方法

興味を引く案内方法

その内容によって、変わります

一人でもおおくさんかされるよう、声がけをしている

保護者の理解を深め、家族で参拝できる機縁となるよう努める

・引率を含め、家族(両親、祖父母、兄弟9での参加を奨励) ・教化団体への協力依頼(仏壮、仏婦、門推等) ・行事のメリハリ

短時間で行う

お世話をして下さるスタッフへの配慮

楽しい雰囲気づくり。行事でも法事でも次にまた参加、出席したいと思ってもらうようにするのが大切と考えます

とくかく楽しめる

・お坊さんがやってくることを楽しみにしてくれるようなこと ・一つでもおいしいものをわたす ・面白い話をする

仏典物語等のビデオ讃称

子供がお寺に気軽に遊びに来られる様な事

仏前に礼拝する家庭環境が減っているため、花を供え灯明を上げることの意味や、自立・自力を認めつつこれを超えるはたらきを伝えたい

・子供、親がいかにお寺に足を向けてくれるか ・どのような内容なら良いのか

安全性について広い範囲からの子供参加なので、安全面には特に配慮している

日程の設定など

・お寺の敷居を低くすること ・お寺に対する「おそれ」や「嫌悪感」をとりのぞくこと

行事内容をわかりやすく、どの年令でもできる事を考えている

行事内容をわかりやすく、どの年令でもできる事を考えている

ことばや動きを子どもの目線で

仏前での作法、姿勢などを教えるが機会が少

法事等の折、子供にわかるような法話の題材に努めています

案内方法

み仏のお敬いの心をわすれようにしつつ、親みやすさを意識する

わかり易い話ができるように努めている

案内をする時、友達を誘ってきてもらうよう呼びかける

子ども達の学校行事やスポ少等と重ならぬように案内する

法事の時、できるだけ子供目線で話すようにしている

子供の集いを行う場合、協力をお願いする

①仏様の教え(生命の尊さ、親の願い{子供に対する}) ②仏事(都会に出ており、帰参された時～自宅が無い等)

・文書による案内 ・親さんへのお参り等奨励

・案内はがき ・保護者といっしょに来られたら、できるだけ保護者にも参加してもらう

①けがや病気に注意する ②子供が興味を持ち喜ぶように趣向をこらす ③お参りの作法を教える ④法話を平易な言葉で話す

・文書での案内配布・参加費の明示・住職1人でも行えるプログラム・下準備は十分に作る・無理し・新しい事はすぐ取り入れる・昔ながらの寺小屋スタイルも継承する

在宅報恩講にお参りの際、子供に向かって講話をする

お寺に興味を持てるような法話

練成会(サマースクール)スタッフ

・日曜学校～案内用のチラシを子どもや子供の家に配布 ・サマースクール～案内と申込用のハガキを同封した手紙を子供の家(保護者)に郵送

生活習慣としての指導 ・宗門門徒としての自覚、お育て

・案内状は子どもと保護者へ説明して手渡しする ・子どもと保護者が一緒に参加できるようなプログラムを考えている

保護者の方も一緒に参加をよびかける案内

初産式を永年続けているので、名簿がある。各行事へ個々に案内し、誘っている

わかりやすい内容

案内状にイラストを多用し、「行ってみようかな」と思わせる工夫と保護者へお寺で「こんなことをしています」とアピールする文章の作成

案内～普段は子どもの地区連絡網 ・正月など年賀状やはがき案内(保護者へも)

・仲良く一緒にできる様に ・また来たくなるような工夫 ・皆勤の表彰など

設問⑤ お寺が地域に開放(利用)されることはありますか？

町内会

①婦人会などによる作品展示会場 ②陶芸作品の展示会場 ③コンサートや落語会の会場 ④その他可能な限りに開放(利用)を

毎週行っている写経会。仏画展覧会。寺小屋コンサート。町内の防災研修会

・観光途中の休憩所 ・お茶処(普段から)・駐車場 ・俳句の会場 などのイベント会場

小学生一泊研修(小学校の行事として)

保育園や学校や児童クラブなど要請があれば、心よく受け楽しくなる様につとめる

寺の会館は、地域の活動にも利用可能をしております

先日「昭和フォークソングライブコンサート」で寺を開放した。初めて

地域が観光を目的とした取組をしている中、観光者へ拝観という形で襖絵等をみせている

地域の之小学校課外授業、地域遺族会

保育所(保育士)、小学校(児童)、中学校(生徒)の研修会、保護者の研修会、コンサート ・やすブーダン村まつり・写経会・八頭町婦人会の研修会・展示会・大学生の課題ゼミ・日帰り仏教体験(写経 法話&イタリアン精進料理)に一年間に200~300人來られました(他宗派の方がほとんど)

小学校、幼稚園の子ども達の「ふるさと探検」などで、本堂、寺庭、鐘楼を開放(30~40分程度)、除夜会、俳句、婦人の集い

・地域の老人会 ・地域の集会 ・小学校の写生会

公民館行事への参画

以前(30年以上前)はピアノ教室の会場等への要請がありましたが、今日は

・老人会 ・パソコン教室

・寺小屋 ・習い事の会場

運動会のあとの懇親会の折、子ども達が集まって遊んでいる

・選挙等の集まり・災害非難箇所・老人会(稀に)・花見の利用・小学生のスケッチ場所・一般学生のスポーツ(マラソン)で利用等

・福祉活動の会場(老人会)・町内自治会の会場

・会議の会場 ・ラジオ体操(夏休み)の会場 ・自治会や子ども会での交流会会場

・婦人会 ・老人会

まちづくりセンター(公民館)行事での「お寺巡り」での自坊の歴史などの説明

町内会(自治会)行事の会場

・老人会 ・常会 ・地区民運動会の反省会

・お茶 ・お花 ・老人会

・年始会

・集金常会

①葬式会場 ②自治会会議 ③消防団会議 ④老人会

集落全体の会(新年会等)

葬儀(地域住民)

葬儀(無住の為唯一の地域とのかかわり)

花見会(仏婦会員を中心として一般人にも参加してもらう)

門信徒の子どもさんへの参加の呼びかけと送迎

・日本語ボランティア教室 ・英会話教室 ・ベビーマッサージ ・お寺でヨガ

葬儀時本堂(内陣荘厳)

自治会の集会所になっている

以前はお寺を利用しての集會会場であったが、自治会館が整備され利用が減少

・葬式 ・地区の行事(ハーベキュー会)・懇親会

葬儀他

葬儀他

地域の会合等

月一回地域の老人を対象にサロンを開催(手習い~手芸、物作り、茶話会等)

老人会

高齢者を対象にした交流会

音楽コンサート

老人クラブの夏の行事、こどものつどいにあわせ、ソーメン流しを共に楽しんでいる

町内会などの集会所として

・婦人会 ・子供の発表会

設問⑥ 組内または近隣の寺院とで申し合わせて共同・連動して取り組んでいること(キッズサンガ)はありますか？

③にも記載したが、青年僧侶の会によるキッズサンガ活動を今後も考えている。

組のキッズサンガ

花まつり「白象巡業」、鹿野仏教会と社会福祉協議会主催で60年目

児童念仏奉仕団

キッズサンガが計画されていますが、近年参加していません

児童念仏奉仕団への参加

保育所の花まつり

・組仏の子の集い ・地区の花祭り

・組でのサマースクール(25年度は念仏奉仕団)・夏の青少年研修の集い

・組のサマースクール ・組の児童念仏奉仕団

組主催の「子ども報恩講」

・子ども報恩講 ・花まつり

組内行事として「子ども報恩講」実施に参加(年1回)

子ども報恩講(組の)

子ども報恩講

組キッズサンガ(子ども報恩講)の集いが3年前から開催されているが、当寺としては独目にそした行事を年に1~2回従来実施しているので、当分の間は組台同の行事への参加は見合わせている

子ども報恩講

組子ども報恩講

子ども報恩講

組としての子ども報恩講

組の子ども報恩講への参加

花まつり

花祭り(就学時の入学祝の行事、46年間)～町内真宗寺院で実施

・サマースクール ・芋の苗植え、収穫など

・サマースクール ・児童念仏奉仕団

近隣の寺院と行事を行う

近隣の寺院と行事を行う

花まつり

近隣3ヶ寺合同で、小学生サマースクール

サマースクール(近隣三ヶ寺)

サマースクール

当寺院門徒さんに対象になる子供がい

日曜学校(真宗こども会)

組ほとけの子のつどい

組でのサマースクール

食事作りの手伝い

・サマースクール ・さつま芋の収穫

子供会

二ヶ寺でサマースクール

同組内のお寺と合同のサマースクールを開催

子供の集い(成道会)

連研、仏壯、児童念仏奉仕団、仏婦、門推

本願寺児童念仏奉仕団

組の子ども成道会

夏休みのこどものつどい(去年は諸事情で単独開催)

設問⑦ キッズサンガに取り組むことによって、新たに得たことはありますか？

親の寺に対する態度の変化

現在のところ、特別な活動よりも各家にお参りした時に子ども達と話をする方が、心が通じやすい(一対一)のせいかもしれないが……

お寺に来る楽しみを作ることが出来た

以前からやっているの

お家の方の顔を知るきっかけとなった

ここ一年間キッズサンガ活動をしていたため、

・子どものときの記憶は年をとっても鮮明に憶えていること ・お参りに行ったとき子供が積極的に一緒にお経を唱えてくれる

いろいろな立場の子供の参加があって良かった

「袱之居とせんさいの会」で、数年前婦人会員でオリジナルの袱之居を作成した。その袱之居を上演してほしいとの要望(老人会、サロン、アイサービスなど)が出て全員が上演広まりよろこばれた

家族で参拝して下さるようになった

これまで縁のなかった世代の方とのつながり

門信徒の意識の変化

お寺への関心の高まり

参加した子供が家庭でも仏壇の前で手を合わせるようになった

昭和50年頃スタートの日曜学校、平成初め頃スタートの親子の集いの実施により、ご門徒家庭を中心に50歳代以下の方々も知り合いの方々が多くて交流しやすいと思われる

対象者に声かけがしやすくなり、機縁となるであいを得たこと

同学年の子どもの中で話題になる

お寺を身近のところと感じてもらえたことと、若い親の世代がお寺に参るだけでも意義があったのではかと思う

子ども達に気付かされることもある

町で子ども達にあった時に声をかけたり、かけられたりすることがよくある

住職の顔をおぼえてくれて、法事など寺以外で会った時でもお話をしてくれるようになった事と、子供を別室に行かせず一緒にお参りするようになってきた

特にキッズサンガということではが、子ども達がお寺への興味を持ったと思う

大遠忌法要の稚児参加により、寺院に親近感を深めることが出来たと思う

お寺(本堂)に気軽に出入りしてくれるようになった

・子供だけでなく、その家族ともつながりができること ・卒業生が親となり、子供と初参式に参加してくれ縁がつながっていくこと

子ども達に親近感を頂くことができる

以前の組の時、組として協同企画をした際、親子参加を呼びかけた所、かなりの割合いで大人の参加もあり、共々の縁(同一の時間)がもてることを知りえた

組内地域の範囲が広く、一ヶ寺に集まるにも難しい

・普段の行事、仏事の時に子供への視点を持つようになった ・できるだけ子供達と会話するようになった

子どものみならず、親もご縁に遭える

前回の人形説きを見た子供が二回目の公演にもお寺に参ってくれた。お寺に興味をもってくれた

・若いお母様方は抵抗なく本堂に上がっていただけるようになりつつある ・普通に子どもと接するときうちとけられるようになった

お寺の地域に子供がい

法事の席等で土曜学校や練成会等の話を思い出して話してくれる事

子供が喜んでくれる

小学校に入る子が … 4年先までおら

各家庭、親たちを含めて、親近感が増した

保護者との距離が縮まった

子どもを通してお寺への理解を得られるようになった

以前より日校を行っているので、キッズサンガの取り組みであらためてというものはかと

毎日、夕方夏は6時、冬は5時地域の子供達が鐘を打つようになった

町などで出会った時、ちょっとした会話、親にも親しみを感じてもらえた

大人と話しても、日校やサマースクールに参加された思い出が語られる。サマースクールに参加した地区外の子が、お寺の歴史を訪ねてきた

子どもや保護者との会話や関係がつくれている

設問⑧ 平成27年度に向けての課題は何ですか？

何らかの活動はしたいが、肝心の子ども達の数(参加数)が少。日程等、もう一度考え直すことが必要かと思っている。

寺小屋パペットシアターの開催

やはり未だお寺行寺より各々の事が忙しくて阿智まりが少なので、一人でも多く参加出来るようにして行きたい

数年前から少子化が一番の課題

子どもを通じて家族の方への発信

少子化で、私の村では小学生が我が家の一人しかいません(門徒の家)他宗でも、7名でお寺に参ることなど、難しくなってきました

未定

さらに地域に開かれたお寺となること 現在は他宗派の方々が来られることが圧倒的に多くなりました

・子供が少なくなり、少しでも多く集める工夫が必要である ・子供の関心が高い内容をするのが大切

「紙芝居」の仕方をもっと工夫してみたい。新人会員のアイデアでよかった。 小学校の校長先生からの助言も頂いたので、検討してみたい。子供がだんだん減ってくる。

一人でも多くの子ども達に関心をもってもらいたい

少子化の現状の中で、行事参加者の増加策(子どもにとって魅力ある企画とは)

寺だけでなく、教化団体と協力して行える体制づくり

上記「子ども報恩講」の継続実施(少子社会)

寺院活動の活性化

連携、共同していくなかで、人数は少なから自坊のご門徒の子どもさんとの交流を保っていくこと

・過疎化は国策の結果 ・農、林ともに4大銀行による大地主の誕生が結論

より多くの子ども達の参加

特に取り組みの計画は

子供の参加が減少しているので、検討する

案内の工夫

身近なキッズサンガ(イベントなどに特化するのではなく、日常の中で子どもとのきっかけをつくること)の推進

行事内容の工夫

行事内容の工夫

案内の工夫

子供を集めるためには、保護者の引率が必要であり、キッズサンガは困難である(容易では)

初産式に参加への案内方法

減少した子ども数に応じた行事日程の変更、見直し

子どもが居ことは、どうにもなら

子供の数の減少と共に親の数も減少し、行事の時の手伝いの確保を早めにしていくこと

その都度考える

自分自身の気持ちを奮いたたせることが課題

・もっと保護者の方に参加してもらえるようにしたい ・法座で若い両親にも参ってもらえるように託児所(キッズルーム)をおきたい

・今後、子供だけでなくお年寄りも一堂に集まって「サロン活動」的な形にもっていけかとなんとなく思っている ・新一年生の子供への参加奨励

少子化

・最近、日校があまり実施できていたので、もう少し行いたい ・子供の数が少なくなっているため、今後どのくらいできるか心配

行事への案内方法

さらに、組全体の取り組みとして拡大する

・子どもの参加には保護者の理解が重要 ・若婦、仏青の教化が最重要課題

サンガスタッフの参画

スタッフの参加(総代さんや仏婦会員への働きかけ)

今春の卒業で、日校生がいなくなった。別の取り組みを考えていなくてはなら

キャンプ

年々参加する子供達の数が減ってきているので、行事内容の見直し、案内の仕方を考え直したい

サマースクールの参加人数の確保

小学校へ閉校(3月)後の地区子ども達の拠り所となること

・町内で小学校が一枚に統合となり、案内の範囲をどうするか ・他行事とのかねあい

設問⑨ キッズサンガをさらに取り組むために、組や教区、宗派へ要望はありますか？

決まった寺院だけでなく、全体の協力体制が必要と思う。

組単位の行事によって少人数(お寺各寺ではあまりにくくても)が数ヶ寺集まると何か出来るのではかと思えます

宗派又は教区全体が全教化団体と同一で取り組めることがあったらよいのではでしょうか(基本的なことからとか)

もうすでに個々のお寺でのことであると思っています

グッズや事例の紹介を要望します

恒久的な予算措置

専門的スタッフの養成・派遣

情報交換、研修の機会があれば

子供が生める年代で結婚にこぎつける ? 英語でお経? 青目社会ではシンランサマが大流行だそうです
組の活動であり乍自坊のための利用に見受けられる寺院がある。予算配分を冷静に考えるべきである
本山に毎年お願いしておりますが、近年サマースクールなどで子ども達に配るリーフレット、グッズや教材などありませんので、作って欲しいです
まだ、キッズサンガ=イベントとの意識がありそれが出来お寺はキッズサンガを敬遠している傾向があるので、それをふっしょくするように組でも働きかけが必要だと痛感する
今一度、キッズサンガを問いなおしたい。勘違いする所を見かける事がありますので
今一度、キッズサンガを問いなおしたい。勘違いする所を見かける事がありますので
自坊の近所には門徒宅があるので、子供だけが不可能である
サマースクールを従来三ヶ寺で行ってきたが、子供の数の減少もあり組内の寺院に呼びかけて参加をつのっていきたい
各寺院のあり方や取り組みを、尊重していただきたい
「子ども、若者ご縁づくり推進室」という新設部署ができたそうだが、現実に対する危機意識の現れとも受け取れるが、ここに力を注いでいかと先は明るく
極小人数の地域にあっては、一ヶ寺単独より協同参加、運営をしていただければ有り難い
高齢化の為、地域に子供がい
サポーター同志での情報交換(意見交換)ブロック間で(邑智)
門徒に子供が殆どおらず、また余門徒の子供も学校行事等が重なり、企画立案の困難さを感じるので無理の範囲で実施したい
若手僧侶を中心とした話し合いが必要
・子ども達がお寺に来て楽しかったと一日が過ごせるよう ・学生や遊び専門の方の派遣 ・昔学生に来てもらって影絵やレク人形劇をしてもらった記憶があります
各ブロックへのはたらきかけ
お金をかけて(拠出して)仏の子を組出てるようにして下さい
これからの宗門、浄土真宗を担ってくれる子どもへの教化助成費に拡大
グッズや事例をホームページなどで、情報発信してほしい
・全国の事例の紹介 ・取り組んでいる方々の工夫や課題など